

浮体式洋上風力発電 TLP係留基礎杭の施工性検証

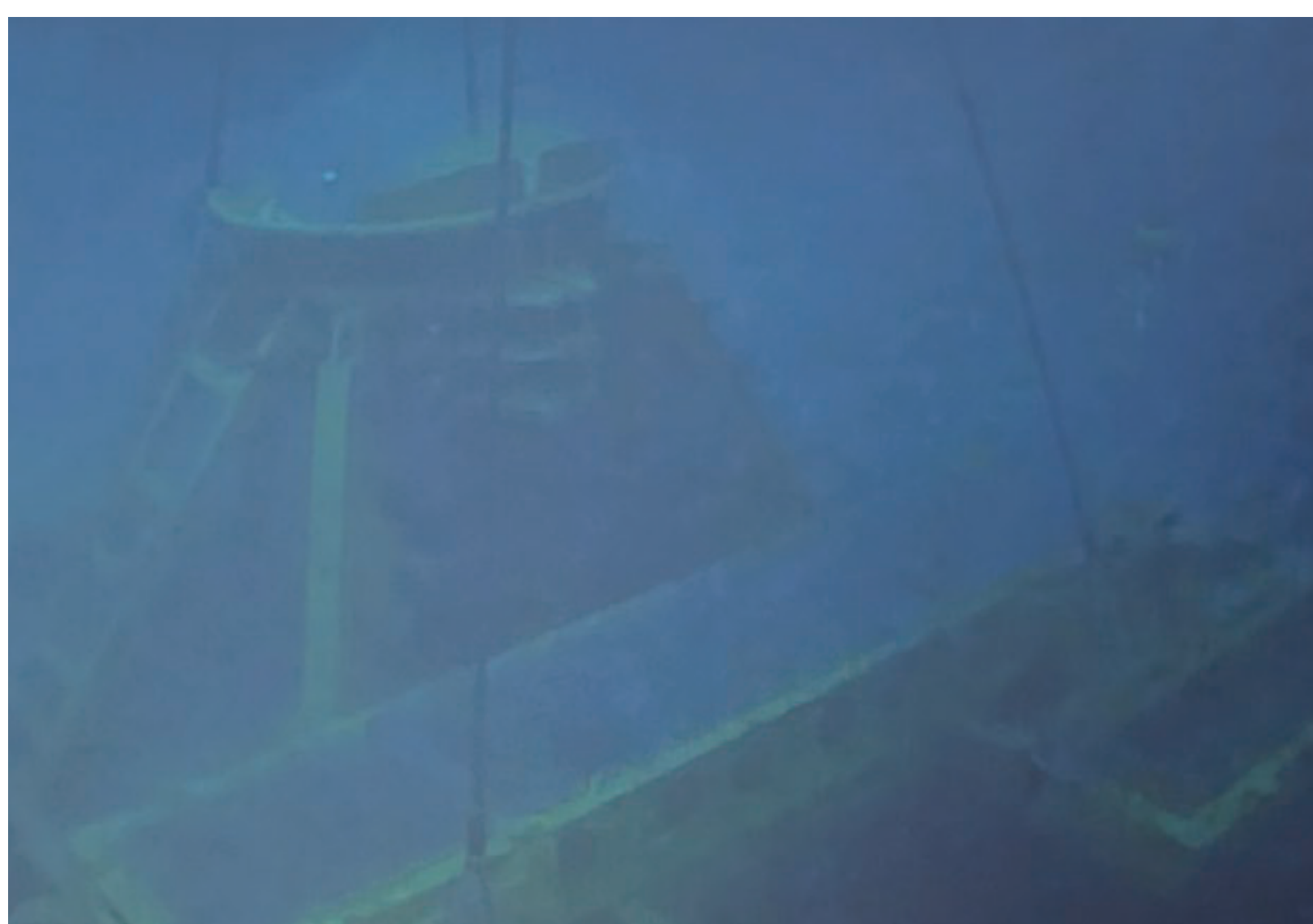
Installation Test of TLP mooring foundation

現地実証実験(施工性検証)

TLP(Tension Leg Platform)浮体を係留するための基礎は、水深が大きい海底の地盤に設置されます。商用化を実現するためには、安全に効率よく施工する必要がありますが、国内ではこうした海域で基礎を設置した事例が極めて少ないため、実際の海域で施工性検証をおこないました。

浮体式ウィンドファーム建設に向けて

作業船にとって厳しい海象条件であるオフショアにおいて、実規模に近いサイズの試験杭を施工しました。この実験で得た大水深での施工ノウハウを将来のウィンドファーム建設に活用していきます。



現地実験状況
(北海道石狩湾で実施)



TLP方式の概略図
提供：三井海洋開発株式会社

本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成を受け実施しているものです。